

やまねずみジョニーのひみつ

ソントン・バージェス／作

那須田 稔／訳

小林 与志／絵



ソーントン・バージェス

やまねずみジョニーのひみつ

やまねずみジョニーのひみつ

バージェス アニマル・ブックス 9

1972年 9 月／発行◎

訳者／那須田 稔

発行者／斎藤佐次郎

発行所／株式会社**金の星社**

東京都台東区小島 1 丁目 4 - 3
電話／東京03-861-1506(代表)
振替／東京64678

写植／松竹写植
製版／サンプロセス社
印刷／熊谷印刷株式会社
製本／株式会社小林製本所

乱丁落丁本はおとりかいたしますので、お
求めの書店または本社へお申し出願います。

■訳者紹介

なすだ みのる
那須田 稔

1932年静岡県に生まれる。愛
知大学中国文学科に学ぶ。
主著に『はくらの出航』『シ
ラカバと少女』『チョウのい
る丘』などがある。

933 バージェス、ソーントン ワールドー

やまねずみジョニーのひみつ

那須田 稔訳

金の星社 1972

166 P 22 cm

基本カード記載例

8397-007091-1406

バージェス アニマル・ブックス 9

やまねずみジョニーのひみつ

T・バージェス作

那須田 稔訳

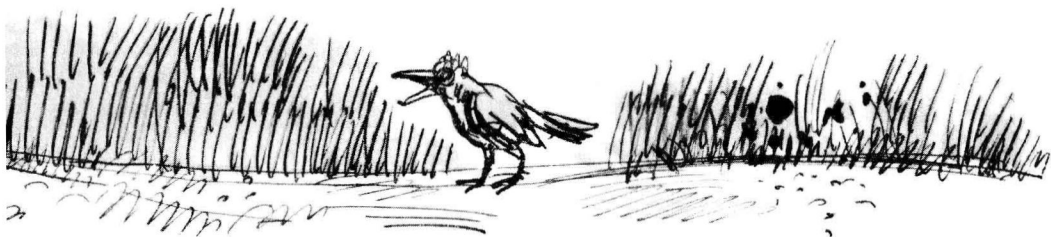
そうほん・さしえ

小林 与志



もくじ

あたらしい いえ………	89
ジョニーとポリーの いえさがし………	82
ジョニー がんばる………	76
せかいでいちばんたいせつなもの………	70
やまねずみのポリー………	65
ジョニーがみたもの………	59
もうひとつの ぼうけん………	52
さいしよの ぼうけん………	44
ジョニーの ぼうけんりよう………	38
いえをすてて どこへいく………	33
につこりいけの うたうたいは だれ………	23
やせつぼちの ジョニー………	14
みなみかぜの おねえさんがやってきた………	6



かけすのサミー……………	94
いたずらは たのしい……………	99
たいへんな いたずら……………	106
にげだした きつねのレッド……………	111
ジョニーの ひみつ……………	117
小さな かわいいもの……………	124
やさしい ところ……………	131
ジョニーは いそがしい……………	137
くだものばたけの がっこう……………	143
サミーの あいず……………	149
■お子さまの読書指導のために	
この作品について……………	156
ヤマネズミ……………	158
古賀忠道……………	
原作者バージェスについて…白木 茂……………	163

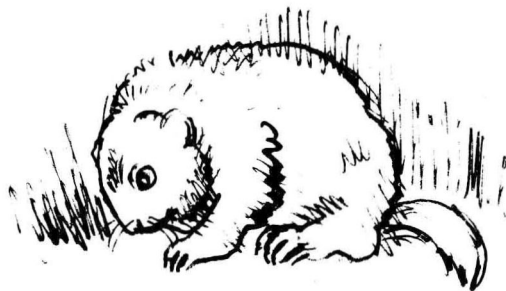


THE BEDTIME STORY BOOKS
THE ADVENTURES OF JOHNNY CHUCK

by
THORNTON · W · BURGESS

やまねずみジョニーのひみつ

T・バージェス作 那須田 稔訳



みなみかぜの おねえさんが やってきた



「みなみかぜの おねえさんが やってくるぞ。」

どこからともなく、こんなこえが、きこえてきま
した。

「ほんとうに、みなみかぜの おねえさんが やつて
きたなら、すてきだけど。」

うさぎのピーターは、ぴよんと とびはね、いそい
で、そのこえのするほうへ いってみました。

すると、どうでしょう。あかるい そらのむこうに、
かわいい青^{あお}いとり^{あお}の すがたが、みえたではありません
んか。

かわいい青^{あお}いとり^{あお}が、みどりの森^{もり}や、みどりがはら
に とんでくると、すぐあとから、みなみかぜのおね
えさんが やってくるのです。みなみかぜの おねえ
さんが やってくると、らんぼうな きたかぜのお



にいさんが、こおりのとけない　さむいくにへ　かえつてしまうことを、うさぎのピーターは、ちゃんと　しっていました。

「わーい、すごいぞ。みなみかぜの　おねえさんが、すぐそこまできているんだ。」

うさぎのピーターが、もう一ど　ぴよんと　とびはねたとき、

「そうかね、ほんとうかね、ピーター。」

という　こえがしました。みると、いつもは　おそろしい、きつねのばあさんでした。

「おい、うそをつくなよ、ピーター。ほんとなら、うれしいけど。」

そばから、うきうきと　はなしかけてきたのは、いじわるぎつねのレッドでした。

みんな　いままで、ゆきのつもった　あなのなかで、きたかぜのおにいさんが　あばれまわっている　くらいそらを　ながめながら、
「はやく　みなみかぜの　おねえさんが　こないかなあ。」

とおもつて、くらしていました。
だから「みなみかぜの おねえ
さんがくる」ということをきいて、
あなから、のこのこでてきたのです。
「ほんとうさ。うそなんか つかないよ。」

うさぎのピーターは、おもいきつ
り ぴよーんと、とびはねました。

そのとき、みなみかぜの おねえさんが、さっと やつてきました。
すると、いままでこおっていたへにっこりいけが、にこにこわ
らいだしました。へぎわぎわ川^{がわ}も、ざわざわと たのしそうに、う
たをうたいながら、ながれはじめました。

みなみかぜの おねえさんが、どての上^{うへ}のゆきを そつとふくと、
しゅんしゅんと ゆきはとけて なくなりました。



「こんにちは、あかちゃん。」

みなみかぜの おねえさんは、ふくろねずみのビリーおじさんのうちの あかちゃんに、やさしくキスしました。そのとたん、ふくろねずみのおかあさんにだかれて、すやすやねむっていた 八ひきのあかちゃんが、いっせいに とびおきて、木のあなのいえから、そとへあそびに 出かけました。

「こんにちは、あなぐまさん。」

みなみかぜの おねえさんは、あなぐまのデイガーのいえの 戸をたたきました。

あなぐまのデイガーも、目をさまし、きょとんとしたかおで、そとをみました。

こうして みなみかぜのおねえさんは、つぎつぎと、みどりの森やみどりがはらの どうぶつたちに、あいさつをしました。

みなみかぜの おねえさんの あとについて、うさぎのピーターは



ぴよんぴよんと はしりまわりました。

みなみかぜの おねえさんは、

「こんにちは、おきてください。」

と、やまねずみのジョニーのいえまできて、ドアのすきまから よびました。

うさぎのピーターは、にやつとわらいました。

ながい ふゆのあいだ、うさぎのピーターは、いつも、なかよしのやまねずみのジョニーを おこそうと、いえのまえまできては、どなっていたのです。

まいにち　どんなにどなつても、さわいでも、やまねずみのジョニーは、ぐうぐうねむっていて、おきてきませんでした。だから　みなみかぜの　おねえさんの　やさしいこえぐらいで、ジョニーが目をさますものかと、うさぎのピーターは　おもったのです。

ところが、どうでしょう。

やさしい　みなみかぜの　おねえさんの、ささやくような小さなこえをきいて、やまねずみのジョニーが　目をさまし、

「あ、あ、あー」

と、あくびをしたではありませんか。

「こいつは、おどろいた。」

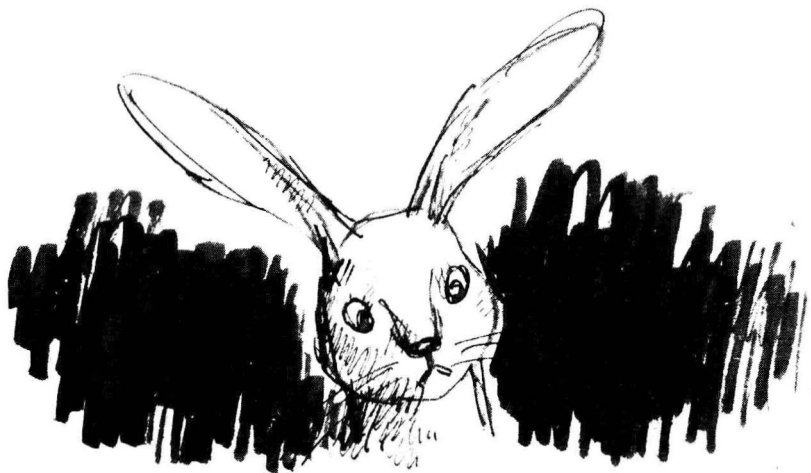
あんまりおどろいたので、うさぎのピーターは、もうすこしで　ひっくりかえるところでした。

「ふしぎだ。どうして　やまねずみのジョニーが、目をさましたのかな」

うさぎのピーターは、ながい左の^{ひだり}
うしろ足^{あし}で、ながい左の^{ひだり}耳^{みみ}をかき
ながら、ひとりごとをいいました。

みなみかぜの おねえさんは に
っこりわらって、うさぎのピーター
に いいました。

「ピーターさん、このよの中^{なか}には、
ふしぎなことがたくさんあります。
でも、それで いいでしょう。ふ
しぎなことの あるおかげで、たの
しく くらせるのですもの。」



やせっぽちの ジョニー



ぼくは 足をけりあげ、おどるよ、ぴよん、

なぜだか わからないけど ぴよん、

やさしい みなみかぜの おねえさんが

くるたびに、

うきうき、わくわく、ぴよん、

くるくるまわって、ぴよん！

うさぎのピーターは、うたをうたいながら、はしりまわっていました。

みなみかぜの おねえさんが、みどりがはらに ついたあさ、ピーターは、うれしくてたまりませんでした。なぜ、そんなにうれしいのか、じぶんにも わかりませんでした。

ピーターは、うたをうたって、かかとをけりあわせ